

令和6年度 橋本市共育コミュニティ 事業報告

| 取組概要  | 4月    | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 目的  | 新規継続 | 協力者<br>支援団体  | ○成果、●課題<br>(全体的)  | 課題解決に向けて                               |
|---|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|---|------|--|---|--|
| 1 会議<br>・共育コーディネーター会議<br>・ふれあいコーディネーター会議<br>・ふれあいルーム事務担当者会議                 | ●     | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●   | ●   | ●   | ●  | ●  | ●  | ・各コーディネーター間の情報共有及び各校、各地域の取組を参考にし、活用する<br><br>・ふれあいコーディネーターと各校担当者との顔つなぎ  | 継続   | 共育コーディネーター<br>ふれあいルーム<br>コーディネーター<br>教頭<br>担当教諭・講師   | ○定期的な情報共有で横の情報を共有することができた<br>●ふれあいルーム事務担当者会議で、ふれあいルームのねらいをしっかりと共有する<br>●共育コミュニティ活動の情報発信 | ・報告だけではなく、熟議の機会を増やす                    |
| 2 ふれあいルーム<br>(放課後子ども教室推進事業)<br>・小学校<br>・図書館<br>・地区公民館<br>・児童館、子ども館          |       | →  |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 工作やスポーツ、文化活動、音楽等の豊かな体験を通じて、子どもたちの地域の方との交流を目指す<br>(工作、ドッジビー、カブラ、漢字・算数、走り方教室、組紐、ミサンガ、ボードゲーム、剣道、書道、橋本音頭、和太鼓、スポーツ鬼ごっこ等) | 継続   | ふれあいルーム<br>コーディネーター<br>サポーター<br>ボランティア<br>推進員  | ○コーディネーターが連携をとりながら多様な活動を実践してくれた<br>●ふれあいルームの情報発信  | ・各校や市のホームページで積極的な情報発信を図るとともに口コミで活動を広げる |
| 3 子どもの居場所づくり推進事業<br>・寺子屋塾(小)<br>・寺子屋塾(中)<br><br>・長期休暇<br>・放課後(小)<br>・放課後(中) | 高小、応小 | ●  | ●  | ●  | ○  | ●  | ●   | ●   | ●   | ●  | ●  | ●  | 放課後一人で過ごさなければならぬ児童・生徒を対象に、地域の協力を得ながら、学習支援や大人と交流を図り、地域の教育力の向上を目指す<br>※家庭教育支援室の学習支援と連携(橋本小、西部小、紀見小、境原小、城山小)           | 継続   | 教員OB<br>学校支援ボランティア<br>PTA<br>ばれぼれ  | ○若者の出番づくりを積極的にすることができた<br>●教員OBに頼らない新規指導員の発掘  | ・大学生、高校生、中学生へのボランティア周知                 |
| 4 共育コミュニティ推進協議会・学校運営協議会連絡協議会  |       |    | ●  |    |    |    |     | ○   |     |    | ●  |    | 学校支援、家庭教育支援、放課後の子どもの居場所づくり、家庭・地域の教育力向上に資する活動等、様々な教育支援活動を円滑・効果的に実施するために、共育コミュニティと学校運営協議会の情報共有を図る                     | 継続   | 教育長<br>青少年育成県民運動推進委員<br>教育部長<br>PTA連合会長<br>校長会代表<br>学校教育課長<br>中央公民館長<br>共育コミュニティ本部長<br>学校運営協議会会長 | ○合同会議、合同研修会も2年目を迎え、委員にも定着してきた<br>●合同会議での熟議内容をどう充実させるか                                   | ・話しやすいテーマ設定の工夫                         |

|   | 取組概要                                    | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 目的  | 新規<br>継続 | 協力者<br>支援団体  | ○成果、●課題<br>(全体的)   | 課題解決に向けて   |
|---|---|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|---|----------|--|--|--|
|   |   |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |          |  |  |  |
| 5 | 中学校区での熟議<br>(育てたい子ども<br>像、育ちたい大人<br>像等) |    |    |    |    | ●  |    |     |     |     |    |    |    | 子どもも大人も参加できる<br>中学校区での熟議(拡大学<br>校運営協議会)を通して、<br>子ども像や大人像を考え、<br>地域の教育力向上を図る | 新規       | 学校運営協議会委<br>員<br>教職員<br>児童生徒<br>学校支援ボラン<br>ティア<br>P T A等 | ○紀見東中学校区、橋<br>本中央中学校区でCSマ<br>イスターを招聘し熟議<br>●学校運営協議会委員<br>の参加が少なく、熟議<br>に偏り<br>●子どもをどう巻き込<br>んでいくかが課題 | ・早めの日程調整が必<br>須<br>・各中学校区に応じた<br>研修会や熟議の仕方を<br>検討する必要がある |

子ども参加の場合は、夏休みを中心に考える  
 →子どもの参加は叶わず、大人のみ参加

**【参考】** 令和5年度

○成果

- ①学校運営協議会、共育コミュニティの認知度増加(共育コミュニティ通信等)
- ②学校と地域対象の研修会の増加

●課題→解決方策

- ①コーディネーターの循環
- ②学校運営協議会を介したP T Aとの連携
- ③学校運営協議会に教職員が出席する拡大学校運営協議会の開催や、共育ミニ集会の活用

令和6年度 高野口地域共育コミュニティ 事業計画

| 取組概要  | 4月 | 5月 | 6月            | 7月           | 8月 | 9月 | 10月        | 11月               | 12月        | 1月 | 2月         | 3月 | 目的   | 新規継続 | 協力者<br>支援団体  | ○成果、●課題<br>(全体的)   | 課題解決に向けて  |
|---|----|----|---------------|--------------|----|----|------------|-------------------|------------|----|------------|----|--|------|--|--|---|
| 1 授業補助<br>・スポーツテスト<br>・まちなか探検<br>・家庭科ミシン<br>・学習発表会<br>・平和学習<br>・硬筆<br>・学習支援 |    |    | ●<br>応小       | ●<br>応小2年    |    |    |            | ●<br>高小2年         | ●<br>高小・応小 |    | ●<br>高小・応小 |    | ・安心・安全な実施<br>・高野口の商業活動を知る<br>・地域と子どもが関わりを深めるための学び<br>・戦争体験からの平和の学び<br>・正しい鉛筆の持ち方習得                     | 継続   | 健全育成会<br>民生児童委員<br>退職教員<br>PTA<br>学校運営協議会委員<br>更生保護女性会<br>洋裁サークル<br>戦争の語り部 | ○地域の人に関わってもらうことで学びが深まり、主体的・対話的に取り組むことができた<br>○学校運営協議会で課題を議論し、学校運営に積極的に参画できた<br>○小学校低学年で児童の学習支援ができた<br>○CNで担当校を決めコーディネートできた<br>●教職員とボランティアの連携がうまくいっていない面がある | ・カリキュラム、年間行事計画を学校運営協議会に提示し、課題について議論したうえで主催行事を企画運営する<br>・学校からボランティアに直接参加要請する<br>・教職員とボランティアの役割の明確化をする                  |
| 2 ふるさと学習<br>・ふるさと学習<br>・凧作り・凧揚げ   |    |    |               |              |    |    | ●<br>高小    | ●<br>高小・応小・きのかわ支援 |            | ●  |            |    | ・故郷の産業、文化、歴史を知り、郷土愛を高め支える人材育成<br>・和凧作り、凧揚げを通して日本の心を知る  | 継続   | 学校運営協議会委員<br>文化財研究会会員<br>健全育成会   | ○「地域の宝」の存在を聞き、郷土に誇りが持てた<br>○体験することが少なくなった凧揚げができた<br>●生活科、総合的な学習の時間等に位置づけられていない<br>●ボランティアの高齢化  | ・カリキュラムに位置づけ各学年で年度初めに計画し、学校運営協議会で共有した上で地域住民にボランティアを依頼<br>・後継者育成に向け、PTAに参加依頼   |
| 3 部活動指導<br>・クラブ活動   |    |    | ●<br>高小・応小4～6 | ●            |    | ●  | ●          | ●                 | ●          | ●  | ●          |    | ・異年齢集団また地域との交流を深め、共通の興味・関心を追求する  | 継続   | 外部指導者  | ○教職員と外部指導者の協力により、児童が異年齢で協力することを学習できた<br>●教職員が授業の一環として位置づけ、積極的にかかわる   | ・小学校のクラブ活動が始まって7年ほどたつが、運営上の問題や意識の相違など問題点が出てきたため、原点に立ち戻り廃止も含め検討し直す   |
| 4 環境整備<br>・田原川清掃<br>・各校園環境整備<br>・花植え交流会<br>・高野口駅美化活動<br>動<br>・校区内清掃         |    |    | ●<br>高小・応小    | ●<br>高野口こども園 |    |    | ●<br>高小・応小 | ●<br>高小・応小        |            |    |            |    | ・地域住民（大人・子ども）が一体となり取り組む<br>・子どもたちの学習環境整備<br>・子どもたちの奉仕精神や環境美化の意識向上を図る<br>・駅、通学路を振り返ることで、住み続けられるまちづくりの実現 | 継続   | 田原川河川愛護会<br>健全育成会<br>PTA<br>人権啓発推進委員会                                      | ○地域住民が一体となって、環境整備に取り組むことで、環境問題に対する意識づけができた<br>●これまでの取組を踏まえ、持続可能な取組にするともに、事前に目的やねらいの共有が必要<br>●「子ども真ん中社会」を目指し、子どもが主体的に清掃活動に関わる体制ができていない                      | ・団体の連携・協働<br>・各園・学校の運営方針に明記し、学校運営協議会で提起し実施<br>・子どもが清掃活動を計画的に企画し、地域住民が協力していく体制を作る<br>・SDGsの理念に則り、自分たちで快適に住み続けられる環境をつくる |

| 取組概要   | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 目的   | 新規継続 | 協力者<br>支援団体   | ○成果、●課題<br>(全体的)   | 課題解決に向けて  |
|--|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|--|------|---|--|---|
| 5<br>登下校安全指導<br>・新入生下校指導<br>・自転車下校指導   | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●   | ●   | ●   | ●  | ●  | ●  | ・新入生の下校の安全確保<br>・地域の声かけを通して、<br>事故防止を図る  | 継続   | 健全育成会<br>民生児童委員<br>PTA  | ○保護者との顔つなぎ、事故の未然防止<br>●学校運営委員会委員、保護者、教職員への取り組みの紹介と協力依頼   | ・学校運営協議会で全校の取組に<br>・保護者へ周知徹底<br>・教職員との連携・協働   |
| 6<br>会議<br>・役員会<br>・本部会議<br>・小中合同教員<br>研修会<br>・関係機関連携会議  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●   | ●   | ●   | ●  | ●  | ●  | ・情報交換<br>・情報交換、教育座談会<br>・テーマ設定し、高野口地域の教員で共有を図る<br>・情報交換（夏休みに向けた行事調整）   | 継続   | 各園小中高特支長<br>公民館長<br>コーディネーター<br>市生涯<br>関係機関、関係団体<br>小中学校教職員                                     | ○本部会議の後半で色々な立場の方とテーマに沿った熟議<br>○本部会議にいつも協力いただいている民生、更生の代表者も入ってもらった<br>●構成団体、日程、会場、持ち方の見直し必要   | ・春先の本部会議と連携会議の開催月を入れ替える<br>・役員会で行事日程の情報交換だけでなく、園・学校で起こっている課題について解決に向けての話し合いをする  |
| 7<br>多様な活動<br>・高野口つれもて<br>寺子屋食堂<br>・寺子屋塾（小）<br>・寺子屋塾（中）<br>・寺子屋体験<br>・子ども広場<br>・高野口マルシェ<br>・挨拶運動<br>・教育講演会<br>・図書ボランティア<br>・大人と子どもの意見交換会 | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●   | ●   | ●   | ●  | ●  | ●  | ・「子どもと高齢者の共生食堂」として交流<br>・各教科の学力補充<br>・受験対策及び学力向上<br>・寺子屋体験の新しい在り方<br>・生徒の職業観、勤労観を育み、自分の進路に生かす<br>・大人と子どもの人間関係、信頼関係を深める<br>・子どもが主体的に活動できる場づくり<br>・子どもの読書力向上に向けてサポートする | 継続   | 健全育成会<br>食生活改善推進委員会<br>退職教員<br>大学生<br>地域住民（農家等）<br>民生児童委員<br>更生保護女性会<br>学校関係者<br>PTA<br>教育機関関係者 | ○寺子屋食堂×寺子屋塾で地域づくりを推進<br>○地域住民と関わる機会を創出し、幼小中高特支という縦の柱を通すことができた<br>○寺子屋塾・寺子屋体験の高校生ボランティア募集を生涯学習課でもらった<br>○「大人と子どもの意見交換会」は実施できなかったが、教育講演会で子どもから講師先生に積極的に質問してもらった<br>●地域住民への協力依頼、保護者の巻き込み方<br>●子どもたちをさらに前に出す<br>●特定のサポーターに負担集中 | ・小学校の「子育てに悩む保護者」対象に臨床心理士を招き教育相談懇談会を開催<br>・教育講演会のテーマを「福祉の心を育てる」とし、「福祉の心で助け合いのまちづくり」の講演と実技講習会を実施<br>・中高生ボランティアの活用<br>・学校、学校運営協議会から地域へボランティア要請<br>・丁寧な声かけの徹底<br>・実施の見直しや回数検討等でサポーターの負担軽減<br>・中学生ボランティアがこども園の読み聞かせに行く |

令和6年度 隅田中学校区共育コミュニティ 事業報告

| 取組概要  | 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月   |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 目的  | 新規<br>継続 | 協力者<br>支援団体                          | ○成果、●課題<br>(全体的)                                 | 課題解決に向けて                                |
|---|--|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|---|----------|--------------------------------------|--|---|
|   | 4月   | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |   |          |                                      |  |   |
| 1<br>すみっしーPJ<br>【原点】<br>・あいさつ+もうひとこと運動                  | →  |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | ・子どもたちにとって安心・安全な地域にするため、地域みんなが顔見知りになること<br>・隅田中学校区みんな知り合い計画   | 継続       | 青少年健全育成会議<br>民生児童委員<br>こども応援隊        | ○あいさつは定着してきたが、もう1歩踏み出すにはどうすればよいか                 | ・もう1歩踏み出すにはどんな工夫があるか熟議                  |
| 2<br>すみっしーPJ<br>【地元愛】<br>・地域のたからマップ<br>・地域清掃<br>→地域に花を！ | <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">地域のたからマップ（各校園で授業等で随時活用）</div><br><div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; display: inline-block;">令和3年度から環境整備の視点で開催形態工夫</div><br>→   |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | ・総合的な学習の時間を柱に、隅田中学校区への愛着を持つための学びを深める（地域のたからマップや地域清掃は目的ではなく手段） | 継続       | 青少年健全育成会議<br>区長会<br>民生児童委員<br>こども応援隊 | ○地元愛を育むための多様なアプローチの仕方がある                         | ・地域のたからマップを隅田中学校区でどのように活用するか担当教員レベルで座談会 |
| 3<br>すみっしーPJ<br>【読書推進】<br>・読み聞かせ<br>・環境整備               | <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">3小学校で図書ボランティアの活動（隅田小 本の森、あや小 学級文庫入替、恋野小 よみきかせ）</div><br>→<br><div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">読み聞かせ（すみだこども園が隅田小学校に出張読み聞かせ）</div>  |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | ・学校の読書環境の充実を図り、読書を楽しむことにより大人も子どもも豊かな人生を歩めるようにする               | 継続       | こども応援隊<br>図書館ボランティア<br>司書            | ○読み聞かせによる園小交流ができた<br>○司書との連携が進んできた               | ・中学校区で一体的な方向性を検討                        |
| 4<br>学習支援（子どもの居場所づくり推進事業）                               | <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">あや小（学習サポートルーム）</div><br><div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">隅田小（放課後学習）</div><br><div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">隅田中（ほうかご図書館）</div><br>→ |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | ・放課後や長期休暇中の児童、生徒の居場所づくりと基礎基本の定着<br>・長期休暇明けの学校生活へのスムーズな接続      | 継続       | こども応援隊<br>教員OB<br>学童指導員              | ○放課後の居場所づくりが定着してきた<br>●中学3年生の参加も増えたが、指導できる指導員の確保 | ・新規指導員の発掘<br>・各校教育実習生への声かけ              |

| 取組概要   | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 目的   | 新規<br>継続 | 協力者<br>支援団体   | ○成果、●課題<br>(全体的)  | 課題解決に向けて                                       |
|--|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|--|----------|---|---|--|
| 5<br>すみっしーP J<br>【集まる場】<br>・わいわい集会<br>・すみっしーカフェ                      | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●   | ●   | ●   | ●  | ●  | ●  | ・学校と地域の交流の場、<br>地域同士のつながりの場づ<br>くりを推進し、つながりを<br>持つきっかけにする                                    | 継続       | 青少年健全育成会議<br>こども応援隊<br>小中園職員                          | ○すみっしーカフェの<br>定着<br>●わいわい集会で熟議<br>の時間を設定できな<br>かった  | ・新規すみっしーカ<br>フェの参加者確保<br>・子どもを交えたわい<br>わい集会を検討 |
| 6<br>すみっしーP J<br>【広報活動】<br>・共育コミュニティ<br>だより<br>・ポスター募集、掲示<br>・ホームページ | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●   | ●   | ●   | ●  | ●  | ●  | ・子ども達や大人がすみっ<br>しーを介して、会話を増や<br>し、つながりを作るための<br>しかけ<br>・公民館報やネットを通し<br>て、多角的にすみっしーの<br>周知を図る | 継続       | 公民館<br>区長会（隅田・恋野）<br>美術部                              | ○公民館報の共育コ<br>ミュニティだより、す<br>みっしーポスターの定<br>着<br>●学校、市役所のホー<br>ムページ発信の仕方を<br>工夫（カテゴライズ<br>等） | ・ロコミも大切  |
| 7<br>会議<br>・本部会議   |    | ●  |    | ●  |    |    |     | ●   | ●   | ●  | ●  |    | ・公民館、保・幼・こども<br>園・小・中の現状を共有<br>し、共通理解<br>・本部の取組に向けて協議  | 継続       | 園長<br>小中校長<br>公民館長<br>コーディネーター<br>青少年健全育成会議<br>市生涯学習課 | ○会議のスリム化を図<br>ることができた<br>●年間の見通し、会議<br>予定が決められていな<br>い                                    | ・会議の持ち方ふりか<br>えり                               |

各校園で年間を通して情報発信

令和6年度 紀見北中学校区共育コミュニティ 事業報告

| 取組概要  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 目的  | 新規<br>継続 | 協力者<br>支援団体   | ○成果、●課題<br>(全体的)   | 課題解決に向けて  |
|---|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|---|----------|---|--|---|
| 1 地域清掃  |    |    |    |    |    |    |     | ○   |     |    |    |    | ・「地域を美しくしよう」という同じ思いを持って活動することで、地域の一体感を図るとともに、園児・児童・生徒の交流を深める  | 継続       | 園小中学校<br>公民館<br>コーディネーター<br>市生涯学習課                        | ○新たな団体への呼びかけを行う（図書ボランティア等）<br>●地域の参加者が少なく、ネットワークが作れない<br>●もっと成果が残るものなら更に良い | ・落ち葉拾いの他にできることはないのだろうか<br>・ふるさと誕生日クリーンアップ運動（11/22）に開催 |
| 2 公民館報を活用した共育コミュニティだより作成                        |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | ・共育コミュニティの地域住民への周知  | 継続       | 園小中学校<br>公民館<br>コーディネーター                                  | ●年3回予定が年2回になった   | ・次年度は3回に  |
| 3 キャリアウィーク（紀見北中2年）                              |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | ・通常の職場体験では出会えない仕事を知る（同級生との起業、在宅ワーク…）。<br>・紀見北中学校卒業生の仕事を知る。    | 継続       | コーディネーター<br>本部会議副本部長<br>学校運営協議会委員<br>地域の方々<br>和歌山社会福祉専門学校 | ○普通の職場体験と違い、多くの職種にふれあうことができた   |   |
| 4 保幼小中教職員交流<br>たんぼぼ園見学<br>三石保育園見学<br>みついしこども園見学 |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | ・就学前の子どもたちの様子を知り、共育コミュニティで情報共有を図る<br>・小学校の夏休み期間に、小中教職員が保幼へ出向く | 新規       | 各校園職員   | ○たんぼぼ園では、三石小3名、柱本小2名就学時相談を踏まえ、関係者も一緒に交流<br>●他の校園の見学はできているが、職員同士の交流が課題      | ・夏休み等長期休業に日程を早めに決める必要性あり                              |
| 5 芋谷の棚田<br>・田植え体験<br>・稲刈り体験<br>・芋谷川の水質調査（5年）    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | ・地域の自然を知り、自然体験、勤労体験を通して食についての学ぶ                               | 継続       | 柱本田園自然環境保全会<br>はしもと里山学校<br>市農林振興課                         | ○たんぼぼだけでなく、棚田の自然環境を生かしたまちたんけん、生物のふれあい<br>●保全会高齢化                           | ・紀見こども園との連携   |
| 6 学校図書館ボランティア活動                                 |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | ・子どもたちに居心地のよい図書館を提供する   | 継続       | 地域ボランティア<br>保護者ボランティア                                     | ○ボランティア増員<br>紀見北中2名<br>→学校だよりから<br>柱本小1名<br>→知り合いから                        | ・継続的な情報発信   |

第1回

第2回

1/31  
社会福祉専門学校、保育士、  
イラストレーター、柔道整復師  
2/7  
キッチンカー製作、JTB

各校園で個別見学

● 柱本小

● 柱本小

雨天のため、中止

毎月活動

| 取組概要  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月                 | 1月 | 2月 | 3月 | 目的  | 新規<br>継続 | 協力者<br>支援団体  | ○成果、●課題<br>(全体的)   | 課題解決に向けて         |
|---|----|----|----|----|----|----|-----|-----|---------------------|----|----|----|---|----------|--|--|------------------|
| 7<br>ミシンボランティア<br>三石小<br>柱本小<br>家庭科補助<br>紀見北中 New |    |    |    | ○  |    |    | ● ● |     | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ |    |    |    | ・複数の大人が見守ることにより、ひとりひとり子どもの出来具合にそった支援ができる。大人も子どももつながりを感じることができる。 | 継続       | 地元民生委員   | ○担当者一人での指導には限界があるので、ボランティアさんの補助は非常に助かる                             |                  |
| 8<br>「ふるさと展望」<br>共育コミュニティ<br>展示                   |    |    |    |    |    |    |     | ●   |                     |    |    |    | ・地元の方々にコミュニティ活動を広く知ってもらう  | 継続       | 小中学校<br>保育園<br>こども園<br>公民館   | ○地道な活動だが継続して、共育コミュニティを知ってもらう機会となった                                 |                  |
| 9<br>三石保育園クリスマス演奏会(12/20)<br>たんぼぼ園親子コンサート(12/25)  |    |    |    |    |    |    |     |     | ○ ○                 |    |    |    | 園児に本物の音楽に触れさせる  | 新規       | バイオリン演奏者<br>柱本小図書ボランティア(矢倉脇在住)<br>バイオリン演奏者<br>卒園児の母親   | ○地域人材を園につなげることができた   |                  |
| 10<br>公民館サークル活動との交流<br>三石小6年 2/26                 |    |    |    |    |    |    |     |     |                     |    | ○  |    | 地域住民と交流をすることで、学びを深め、アウトプットの機会をつくる                               | 新規       | 公民館サークル(4団体)   | ○子ども発信の取組から地域とつながることができた   |                  |
| 11<br>たんぼぼ園芋ほり                                    |    |    |    |    |    |    | ○   |     |                     |    |    |    | 土を通しての地域交流で、心からのふれあいを目指す  | 新規       | 地域の方々(沓掛、柱本、光陽台)<br>ファクトジャパン(園近くの事業所)  | ○既存の地域交流を整理することができた  |                  |
| 12<br>会議<br>・連携会議<br>・本部会議                        | ●  |    | ●  | ●  |    | ●  | ●   |     | ○                   | ●  |    | ●  | ・公民館、保・幼・こども園・小・中の現状を共有し、共通理解や交流を深める<br>・全体の取組に向けて協議            | 継続       | 【連携】<br>園小中学校長<br>公民館長<br>コーディネーター<br>市生涯学習課<br>【本部】<br>園小中学校長<br>公民館長<br>コーディネーター<br>市生涯学習課<br>P T A<br>学校運営協議会委員 | ○昨年度の反省を生かし、会議の持ち方をコーディネーター中心に検討した<br>●紀見こども園がメンバーに加わるので、会議の持ち方を検討 | ・各校園！回ずつ訪問できるように |

その他

- ・【連携事業】子ども+地域高齢者食堂(第二層協議体)

令和6年度 学文路・清水地域共育コミュニティ 事業報告

| 取組概要  | 4月   | 5月 | 6月 | 7月  | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月                     | 目的   | 新規<br>継続      | 協力者<br>支援団体  | ○成果、●課題<br>(全体的)   | 課題解決に向けて                         |
|---|--|----|----|---|----|----|-----|-----|-----|----|----|------------------------|--|---------------|--|--|----------------------------------|
| <b>【3校園】</b><br>・わいわいマルシェ（以前のカフェマルシェと児童・園児交流会を統合）   |  |    |    |   |    |    |     |     | ●   |    |    |                        | ・通学合宿の代替として、学文路・清水地域の児童（5年）・園児（年長）の親睦を図り、小学校のリーダーとして活動する心を醸成する<br>・地域と子どもつながりづくり | 継続            | 更生保護女性会<br>民生委員<br>共育コーディネーター<br>公民館<br>紀北工業高校<br>保護者<br>学校運営協議会委員                   | ○地域や保護者の参加者が増えた<br>○マラソン大会での交流につながる<br>●地域の方が交流する機会、子どもの変容を見る機会も検討<br>●わいわいマルシェ前の小学校間の情報共有 | ・いろんな方に子どもの様子を見てもらえる機会に実施することも必要 |
| <b>【通年】</b><br>地域学校協働活動<br>・かむかむ塾<br>・見守り隊<br>2<br>・図書ボランティア<br>・放課後学習<br>・あいさつ運動<br>・地域ふれあい散歩  | 学小<br>清小<br>こども園   |    |    |   |    |    |     |     |     |    |    |                        | ・学校と地域が同じ目標に向けて子どもを育てる   | 継続            | 更生保護女性会<br>民生委員<br>共育コーディネーター<br>市役所<br>学校運営協議会委員<br>地域サークル<br>etc<br>※個人的なつながり      | ○かむかむ塾、放課後学習について、指導員と学校が情報共有する機会を持つことができた<br>●かむかむ塾の開催回数が少ない                               | ・新たな指導員を発掘                       |
| <b>【複数校園】</b><br>地域学校協働活動<br>・エプロン先生<br>・1年生歩行指導<br>・茶摘み<br>・ヘラブナ釣り<br>・米作り<br>・黒河道道普請<br>・校区・町探検<br>・七夕集会<br>・ふれあい盆踊り<br>3<br>・防災探検<br>・企業連携<br>・柿<br>・芋ほり<br>・焼き芋<br>・花植え交流<br>・堤防花植え<br>・子ども祭<br>・餅つき大会<br>・味噌作り<br>・感謝の集い | ● 学小、清小<br>● 清小<br>● 学小、清小<br>● 清小<br>● 学小<br>● 学小<br>● 清小<br>● 学小、清小<br>● 清小、こども園<br>● 清小<br>● 清小、こども園<br>● 学小<br>● 学小<br>● 清小<br>● 学小、清小<br>● 学小<br>● 学小<br>● 清小 |    |    | ● 田植え<br>● 稲刈り<br>● しめ縄<br>● 北川鉄工所<br>● 畑・選果場<br>● つるし柿 |    |    |     |     |     |    |    | ・学校と地域が同じ目標に向けて子どもを育てる | 継続   | で成り立っている活動も多い | ○地域に根付いた活動が多く、「感謝の集い」で学びをアウトプットする機会もできている<br>●それぞれの学習が「何のために」されているか確認しながら、学んでいくことが大切 | ・学校と地域が一体となり、事前・事後の話し合いを持ち、PDCAサイクルを回す   |                                  |

| 取組概要  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 目的   | 新規<br>継続 | 協力者<br>支援団体  | ○成果、●課題<br>(全体的)   | 課題解決に向けて                                  |
|---|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|--|----------|--|--|---|
| <p>こども園<br/>地域学校協働活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠足</li> <li>・鈴虫</li> <li>・さつまいも収穫</li> <li>・ロビー展</li> <li>・かかしコンテスト</li> </ul> <p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初詣</li> <li>・高齢者食堂訪問</li> <li>・花壇花植え</li> <li>・音楽会</li> <li>・マラソン大会応援</li> </ul> |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | <p>・学校と地域が同じ目標に向けて子どもを育てる</p>                                    | 継続       | <p>民生委員<br/>共育コーディネーター<br/>公民館<br/>etc<br/>※個人的なつながりで成り立っている活動も多い</p>  | <p>○地域に出かけ、体験活動を通し、多様な人とつながることができた</p>   | <p>・さらに地域の人たちと関わりを持ったり、触れ合ったり親しむ機会を持つ</p> |
| <p>会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局会議</li> <li>・本部会議</li> </ul> <p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋中区コーディネーター会議</li> <li>・3本部合同研修会(橋本、山田、学文路・清水)</li> </ul>  |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | <p>・情報交換、本部会議の内容決定</p> <p>・子ども像や大人像の共有や交流を図り、地域づくりと学校づくりを目指す</p> | 継続       | <p>【事務局】<br/>園長、公民館長、教頭、コーディネーター、市生涯学習課</p> <p>【本部】<br/>PTA、校長、園長、区長、民生児童委員、公民館長、更生保護女性会、共育コミュニティ、教頭、コーディネーター、市生涯学習課</p> | <p>○本部長を地域に方に担っていただいた</p> <p>○本部会議を各小学校で開催できた</p> <p>○橋中区コーディネーター会議の情報共有</p> <p>●本部員の固定化</p> | <p>・関係者（ステークホルダー）を広げる</p>                 |

令和6年度 橋本地域共育コミュニティ 事業報告

| 取組概要  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 目的   | 新規<br>継続 | 協力者<br>支援団体                                 | ○成果、●課題<br>(全体的)  | 課題解決に向けて                   |
|---|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|--|----------|---|---|----------------------------|
| 橋本小<br>・エブロン先生<br>1年(下校指導)<br>1年(給食)<br>2年(お店回り)<br>3年(町探検)<br>5年(ミシン)<br>6年(ミシン)<br>6年(ガイドブック)<br>・夏に挑戦<br>・学習支援 | ●  | ●○ |    |    |    | ●  |     | ●●● |     |    |    |    | ・地域の人たちの能力発掘、生きがいづくりと <b>学校の教育活動への支援</b><br>・ <b>中学生、高校生が活躍する出番づくり</b> | 継続       | 民生委員<br>保護者<br>橋本中央中<br>子ども館<br>橋本高校        | ○学校の教育活動のスムーズな運営につながった。<br>○地域の方々に学校の取組や児童の様子を知ってもらう機会となった。<br>○学校・地域また中学校・高等学校とのつながりが深まった。<br>●日程調整・人員調整 | ・事前・事後の共有を図り、PDCAサイクルを回す   |
| 橋本中央中<br>・家庭科支援<br>(着付け、手縫い、ミシン)<br>・図書室開放<br>(学習見守り)   |    |    |    |    |    | ●  |     | ●   | ●   |    |    |    | ・地域の人たちの能力発掘、生きがいづくりと支援  | 継続       | ボランティア<br>(民生委員、子ども館職員、 <b>学校運営協議会委員</b> 等) | ○公民館報を活用したボランティア募集<br>○学校運営協議会委員を通じた学習見守り呼びかけ<br>●新ボランティアの発掘  | ・公民館報を活用した募集の継続            |
| 橋本高校<br>古佐田丘中学校<br>・ボランティア<br>・出前授業   |    |    |    | ○  |    |    |     |     |     |    |    | ○  | ・高校生や小学生がお互いにウィンウィンの関係で学び合う  | 継続       | 橋本小学校                                       | ○総合的な探究の時間を通じた出前授業、学習支援ボランティアなどを通して、新たなつながりづくりができています。  |                            |
| 公民館報を活用した共育コミュニティだより作成  |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | ・共育コミュニティの地域住民への周知   | 継続       | 橋本地区公民館                                     | ●小中学校のみの情報発信  | ・共育コミュニティ関係者の幅広い情報発信も可能にする |
| 3本部合同研修会<br>(橋本、山田、学文路・清水)  |    |    |    |    | ●  |    |     |     |     |    |    |    | ・関係者の資質向上と問題意識の共有  | 継続       | 3本部共育コミュニティ関係者                              | ●参加者の偏り   | ・早めの日程決定と幅広い周知             |
| 地域の活動<br>公民館盆踊り<br>(こども食堂)  |    |    |    |    | ●  |    |     |     |     |    |    |    | ・公民館やこども食堂を核に縦のつながり、 <b>ナナメの関係</b> を作る                                 | 継続       | 橋本高校<br>橋本地区公民館<br>橋本中央中学校<br>橋本こども園        | ○学生の協力により、多様なつながりが生まれる  | ・多様な団体とつながる工夫              |

R7も同時期開催予定  
4月当初に日程を決める

| 取組概要  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 目的          | 新規<br>継続 | 協力者<br>支援団体                                   | ○成果、●課題<br>(全体的)  | 課題解決に向けて               |
|---|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-------------|----------|---|---|------------------------|
| 会議<br>・本部会議、活動参<br>観<br>7<br>・橋中区コーディ<br>ネーター会議 |    | ●  | ●  |    |    | ●  |     | ○   |     | ○  | ●  |    | ・情報交換、連携の促進 | 継続       | 園長<br>小中校長<br>高校校長<br>公民館長<br>子ども館長<br>市生涯学習課 | ○会議のスリム化<br>○橋中区コーディネー<br>ター会議の情報共有<br>●本部長が学校長と<br>なっている | ・本部長を地域側に<br>担っていただく工夫 |

令和6年度 山田地域共育コミュニティ 事業報告

| 取組概要  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月        | 9月 | 10月       | 11月 | 12月     | 1月 | 2月 | 3月 | 目的   | 新規<br>継続 | 協力者<br>支援団体  | ○成果、●課題<br>(全体的)  | 課題解決に向けて   |
|---|----|----|----|----|-----------|----|-----------|-----|---------|----|----|----|--|----------|--|---|--|
| 紀北工業高見学<br>クラブ活動(箏)<br>米作り<br>まちたんけん<br>1 やっちゃん広場<br>防災学習<br>七夕笹準備<br>クリスマス飾り<br>挨拶運動       |    |    |    |    | ● さつきこども園 |    | ○ 西部小5・6年 | ●   | ● 西部小3年 |    |    |    | ・地域を知る、守る、つなぐ<br>(地域の学校、伝統文化、施設、防災設備など)            | 継続       | コーディネーター<br>紀北工業高<br>保護者<br>市危機管理室<br>区長<br>公民館<br>子ども館<br>JA<br>派出所<br>米阪パイル<br>郵便局 | ○コーディネーターを介して少しずつつながり拡大<br>●点のつながりはできているが、面のつながりまではいかず<br>●子どもの学びにどのような効果が出ているかわかりにくい | ・評価指標やつながった方全体にアウトプットできる場の設定<br>・消防団と連携した防災学習    |
| 紀北工業高<br>・子ども館夏休み行事<br>・公民館ポスター掲示<br>2 ・挨拶運動<br>・ふれあってせいぶ<br>・盆踊り<br>・ドローン体験<br>・ロボット製作体験教室 |    |    |    |    | ●         |    |           | ○   | ○       |    |    |    | ・地域を支える、若者の地域貢献                                    | 継続       | 紀北工業高  | ○紀北工業の積極的な地域貢献でつながり拡大   |  |
| 夏休み楽しく勉強会<br>・館長ブース<br>3 地域で漢検  |    |    |    |    | ●         |    |           |     |         |    |    |    | ・長期休暇中の宿題支援を通し、山田地域で異年齢のつながりを持ち、コミュニケーション力を高める学び合い | 継続       | 山田地区公民館<br>学童<br>紀北工業高・橋高<br>青指連<br>橋本中央中<br>子ども館                                    | ○夏休み楽しく勉強会が1日開催から2日開催に<br>○公民館、子ども館とのつながりを大切にできた<br>●地域への漢検受験募集できず                    | ・地域の巻き込み方をどうするか工夫必要<br>・夏休み楽しく勉強会と地域で漢検のコラボレーション |
| 3本部合同研修会<br>(橋本、山田、<br>4 学文路・清水)  |    |    |    |    | ●         |    |           |     |         |    |    |    | ・関係者の資質向上と問題意識の共有                                  | 継続       | 3本部共育コミュニティ関係者   | ●参加者の偏り   | ・早めの日程決定と幅広い周知                                   |
| 会議<br>・本部会議、活動参観<br>・橋中区コーディネーター会議<br>5   |    | ○  |    | ○  | ○         |    |           |     |         |    |    |    | ・定期的な情報交換によりつながりを持つ<br>・山田地域の現状把握と情報共有             | 継続       | 園長<br>小中校長<br>高校校長<br>公民館長<br>子ども館長<br>市生涯学習課  | ○会議のスリム化<br>○橋中区コーディネーター会議の情報共有<br>●本部長が学校長となっている                                     | ・本部長を地域側に担っていただく工夫                               |

令和6年度 紀見東中学校区共育コミュニティ 事業報告

| 取組概要  | 4月            | 5月  | 6月 | 7月       | 8月 | 9月 | 10月 | 11月             | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 目的  | 新規<br>継続 | 協力者<br>支援団体  | ○成果、●課題<br>(全体的)                                   | 課題解決に向けて  |
|---|---------------|-----|----|----------|----|----|-----|-----------------|-----|----|----|----|---|----------|--|--|---|
| 1<br>地域みんなで！子育て交流会  |               | ●   |    | ●        |    | ●  |     | ●               |     | ●  |    | ●  | ・健やかな子どもの成長を願って、9校園の保護者と地域住民が集い、子育て等について意見を交流する             | 継続       | 地域人材<br>コーディネーター   | ●参加者数が少ない  | ・開催時期、方法、内容の検討  |
| 2<br>地域一斉清掃<br>(各校園で単独実施)   |               |     |    |          |    |    |     | ●               | ○   |    |    |    | ・清掃活動を通して、自分の地域と地域の一員であることを意識する<br>・保・幼・こども園・小・中の子ども達の交流を図る | 継続       | 地域住民<br>学校運営協議会委員<br>園小中学校<br>公民館<br>コーディネーター<br>市生涯学習課                          | ○各校園で都合の良いときに実施<br>●地域の方々との交流機会は設定できず              | ・ふるさと誕生日クリーンアップ運動(11/22)に開催   |
| 3<br>長期休暇学習支援<br>(子どもの居場所づくり推進事業)   |               | 打合せ |    | ○<br>紀見小 |    |    | 打合せ | ●<br>紀見小・境原小・城山 |     |    |    |    | ・長期休暇における児童の宿題を地域全体(中高生含む)で手助けし、学校で良いスタートを切れるようにする          | 継続       | (一社)はしっ子えが<br>おサポートばればれ<br>教員OB<br>学童指導員<br>高校(橋本、紀北工業、初芝橋本)<br>中学生(紀見東)<br>近畿大学 | ○中高生、大学生がボランティアで参加<br>●新規指導員の確保                    | ・市内での指導員のネットワークを構築  |
| 4<br>その他<br>・夏季合同研修会<br>・人権講演会<br>・共育ミニ集会(すこやか子育て講演会)<br>・10歳の立志式<br>・ナチュラルブレイク | 夏季合同研修会を本部会議に |     |    | ●        |    |    |     | ●               |     |    |    |    | ・共育コミュニティ関係者が一堂に会し、学校・家庭・地域のつながりを持続可能なものにするために、講演・熟議を通して学ぶ  | 継続       | 県教育委員会<br>市生涯学習課<br>青少年健全育成会議<br>公民館   | ●夏季合同研修会を共育コミュニティ本部会議(拡大学校運営協議会)と想定したが、地域の参加が少なかった | ・学校に関わってくれる方々に早い段階から周知  |
| 5<br>会議<br>・役員会議<br>・本部会議   |               |     | ●  | ●        |    | ●  |     |                 |     |    | ●  |    | ・公民館、保・幼・こども園・小・中の現状を共有し、共通理解<br>・本部の取組に向けて協議               | 継続       | 園長<br>小中校長<br>公民館長<br>コーディネーター<br>市生涯学習課   | ●会議のスリム化を図ることができたが、顔を合わせる機会が少なくなりすぎた               | ・会議の持ち方ふりかえり<br>・境原幼稚園、紀見幼稚園、紀見保育園がなくなることで、2園4校になるので、役員会議を6回にしてはどうか |